

# 白井なおこ

しらい・なおこ  
REPORT Vol.15



HPもぜひ!



日野・生活者ネットワークニュース 白井なおこ REPORT 発行日：2022年7月10日  
発行：日野・生活者ネットワーク 発行責任者：出沼恵美子  
〒191-0062 日野市多摩平 2-3-12 中央日石ビル 4階  
TEL: 042-514-8695 FAX: 042-514-8697 E-mail hino-net@cap.ocn.ne.jp

## 活動フォト



東京都公文書館(国分寺市)を視察

## 議 会 一 般 質 問

### 子ども達で決めよう! 校則は自分たちのルール

新教育長就任後、はじめての一般質問は、子どもが主役の学校をテーマに、校則や制服の決め方、性被害に対する相談窓口の周知、性教育の充実、18歳からの選挙権にむけた主権者教育の進め方などについて、多角的に質問、提案しました。

### 校則はみんなで決めて納得する過程を大切に

校則の見直しについては昨年の質問後、各学校で様々な工夫をこらして進められていること、また制服も性別に関わらず自由に選択できる周知が行われていることが確認できました。何を決めるかと同時に、**どう決めるか、話し合いの過程こそ大切**にしてほしい旨を求めました。

加えて、給食残渣を減らす工夫を自分たちで考え実践することや、身近な市政への意見表明なども、すべてが**主権者教育**につながる

### 性被害の相談窓口が東京都に設置

東京都は4月より「児童・生徒を教職員等による性暴力から守るための第三者相談窓口」(※)を開設し、子ども・保護者への周知を呼びかけています。4月中に配布された市もあるようですが、日野市においては周知状況にばらつきがあることがわかりました。これは**大切なお知らせ**だという認識で、迅速な周知徹底を強く要望しました。

国は子どもを性暴力の加害者・被害者・傍観者にしない「**生命(いのち)の安全教育**」をすすめるようとしています。日野市においても、積極的に取り組むことを求めました。

堀川教育長からは、子どもを中心とした学校づくり、子ども自ら学びとり、主権者としての力を身に付けていけるよう、誠心誠意取り組んでいくといった力強い決意を聞くことができました。

ります。そのような視点からの教員研修の充実を求めました。

東京都の相談窓口はこちら



## 6月議会 トピックス

### ●ワクチンよりも検診を!

HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)定期接種の積極的勧奨がこの春から再開されました。それに伴い、公費接種を逃した方々を対象に接種助成の補正予算がありました。

した補助は妥当と考えますが、その先についても見据えておく必要があります。日野ネットは有機給食の実現と無償化を目指していますが、そのために必要なステップを、皆さんとともに模索していきたいと思えます。

### ●子どものマスク着用の緩和を求める請願

マスク着用は義務ではないとはいえ、様々な理由で外したい子も外しくいのが現状です。その気持ちに寄り添いながらの声掛けや子ども達が状況に応じた判断力を身につけられるよう、賛同しました。残念ながら請願は採択されませんでした。これから学校ごとの丁寧な声掛けを求めていきます。

(以上、すべて賛成)



### ●学校給食の安全を守るために

物価高騰が続く中、議会最終日に学校給食の食材費補助を含む補正予算がありました。

学校給食は質と安全性を担保しつつ、現場の方々のご努力で、10年間食材費を据え置いてきました。今回の国の交付金を活用

## 日野市がついに 気候非常事態宣言を発出!

日野ネットは、宣言を発出するにあたり、気候市民会議を経て十分に市民の声を反映したものとすること、子どもにも理解できる内容とし、読める工夫をすることなどを要望書として提出しました。



しかし市としては、環境フェアやシンポジウム等と連動性をもたせながら、まずは年内に宣言を、そして気候市民会議は次年度より実施する旨の説明が議員向けにありました。

一刻も早くという市の思いを受け止め、市民が自分事として理解し、行動に移せるよう、そして日野市らしいキックオフ宣言になるよう取り組んでいきたいと思えます。